

Syllabus Id	Syl-112550
Subject Id	Sub-112007110
更新履歴	20110326 新規
授業科目名	英語β、 English β
担当教員名	北條 健 (Hojo Ken)
対象クラス	全学科5年生
単位数	2履修単位
必修/選択	選択
開講時期	通年
授業区分	語学
授業形態	講義
実施場所	

### 授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

多岐にわたる話題を載せた多読用の教材を使用し、学生の興味をひきつける。読みやすい英文を利用し、語感を養い、読解力向上を目指す。さらに英字新聞の科学欄や科学雑誌などに見られる科学英語に取り組み、化学・工業・医学分野の語彙を増やす。

### 準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

大学1年生修了の英語力。

	Weight	目標	説明
学習・教育目標		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	◎	D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
学習・教育目標の達成度検査			<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。</li> <li>2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。</li> <li>3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。</li> </ol>

### 授業目標

1. 限られた時間内での確に、素早く英文を読み、内容を読み取る力を養う。
2. 化学・工業・電子・医学等の分野の基本的な英語を覚える。

### 授業計画 (プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	前期オリエンテーション	前期オリエンテーション、自己紹介 授業概要、目標、スケジュール、評価方法とその基準などの説明	
第2回		Monthly・Weekly等の英文情報誌で化学・工業・医学分野の記事を読み、科学英語に取り組む	
第3回	Unit 1	Humans in space 宇宙について	
第4回	Unit 2	Going to Mars 宇宙について	
第5回	Unit 3	Space Telescope 宇宙について	
第6回	Unit 4	Vacations in Space 宇宙について	
第7回		Monthly・Weekly等の英文情報誌で化学・工業・医学分野の記事を読み、科学英語に取り組む	
第8回	前期中間試験		×
第9回	Unit 5	Underwater world 自然の驚異について	
第10回	Unit 6	The biggest world 自然の驚異について	
第11回	Unit 7	What is a view 自然の驚異について	
第12回	Unit 8	A cold land 自然の驚異について	
第13回	Unit 9	Prince William 世界のセレブについて	
第14回	Unit 10	Jennifer Lopez 世界のセレブについて	

第 15 回	前期末試験		×
第 16 回	後期オリエンテーション	Monthly・Weekly 等の英文情報誌で化学・工業・医学分野の記事を読み、科学英語に取り組む	
第 17 回	Unit 11	Cameron Smith 世界のセレブについて	
第 18 回	Unit 12	Will smith 世界のセレブについて	
第 19 回	Unit 13	Tony Hawk 世界のセレブについて	
第 20 回	Unit 14	Snowboarding スポーツについて	
第 21 回	Unit 15	The Xmas	
第 22 回	Unit 16	Bungee	
第 23 回	Unit 17	Star Wars 世界の映画について	
第 24 回	Unit 18	The movie-maker	
第 25 回	Unit 19	A movie extra	
第 26 回	Unit 20	Animated actors	
第 27 回		Monthly・Weekly 等の英文情報誌で化学・工業・医学分野の記事を読み、科学英語に取り組む	
第 28 回		Monthly・Weekly 等の英文情報誌で化学・工業・医学分野の記事を読み、科学英語に取り組む	
第 29 回		Monthly・Weekly 等の英文情報誌で化学・工業・医学分野の記事を読み、科学英語に取り組む	
第 30 回	後期末試験		×

### 課題

授業中に指示する。

### 評価方法と基準

#### 評価方法

定期試験および小テスト、授業中の活動・発表、課題提出、授業態度、学習意欲で評価する。

#### 評価基準

定期試験・小テストの成績－60～70%、平常点(活動・発表、課題提出、授業意欲)－30～40%、学習到達達成度自己評価－若干。

教科書等	Extensive Reader 3 著者 Gillian Flatherty 他 編集 大野秀樹 成美堂出版 Weekly Journal 等の科学雑誌・英字新聞
先修科目	総合英語、英語W、英語C
関連サイトのURL	<a href="http://nact-na.numazu-ct.ac.jp/ANET2/">http://nact-na.numazu-ct.ac.jp/ANET2/</a> ALC Net Academy 2
授業アンケートへの対応	見やすい板書を心がける。授業の目標を明確にする。状況(クラスの能力水準、学習意欲等)によって教材も進度も適宜変更する。
備考	1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。